

# みやぎハイスクール通信

発行日：令和6年8月29日

発行者：宮城県教育庁高校教育課

<https://www.pref.miyagi.jp/site/sub-jigyou/gak-mailmaga-bknum.html>

県立高校の旬な情報をお届けします。マナーアップの取組や特色ある学校行事の紹介、生徒の活躍（成果報告等）、入学を目指す皆さんへのお知らせなど、魅力的な取組に関する情報が満載です。

中学生の皆さんの進路選択に、ぜひ御活用ください。

## 8月号の目次

- 1 マナーアップの取組紹介
  - (1) 伊具高校 (2) 名取高校
- 2 特色ある学校行事等の紹介
  - (1) 柴田高校 (2) 泉高校 (3) 松島高校 (4) 古川高校
  - (5) 迫桜高校 (6) 一迫商業高校 (7) 石巻好文館高校
  - (8) 石巻工業高校 (9) 本吉響高校
- 3 生徒の活躍（活動の成果報告等）
  - (1) 南郷高校 (2) 岩ヶ崎高校 (3) 大河原産業高校
- 4 入学を目指す皆さんへ（お知らせ・メッセージ）
  - (1) 岩出山高校

# 1 マナーアップの取組紹介

## (1) 伊具高校

### 〈マナーアップ運動〉

伊具高校では、毎月15日に朝のあいさつ運動と自転車マナーアップ運動を行っています。8時から8時30分までの30分間、校門前で生徒会の生徒があいさつ運動を実施し、生活・交通委員会が学校前の車通りの多い交差点で自転車マナーアップ運動を実施しています。特に自転車のマナーについては、イヤフォンをしての運転や交差点での一時停止および左右確認の声掛けをしています。また、自転車の施錠についても声掛けをしています。昨年度最後のマナーアップ運動では、角田警察署の方にも参加していただき、鍵を配布して施錠を呼びかける活動も行いました。今後も地域と連携した交通安全指導に取り組んでいきます。交通安全に関しては、交通安全防犯教室の他、地域の自転車業者の方に協力いただき、バイク・自転車点検も実施し、バイク・自転車の整備から交通安全の意識を高めています。



今後とも、交通安全、挨拶を身に付けられるよう、生徒が主体となって活動していきます。

〈学校のホームページはこちらです〉

<https://igu.myswan.ed.jp/>

## (2) 名取高校

### 〈生徒指導部 マナーアップ運動について〉

名取高校では毎月中旬に、岩沼駅から学校までの通学路において、生徒会役員と交通安全委員が中心となってマナーアップ運動を行っています。登校中の生徒に対し、朝の挨拶とともに、交通ルールの遵守や、登校時のマナーアップにつながる呼びかけをしています。

地域の方々から愛される学校を目指し、今後もこの活動に取り組んでいきたいと思えます。



〈学校のホームページはこちらです〉

<https://natori-h.myswan.ed.jp/>

## 2 特色ある学校行事等の紹介

### (1) 柴田高校

#### 〈第1回オープンキャンパス・学校説明会開催〉

7月28日(日)に第1回オープンキャンパスを実施しました。保護者の方を含め、333名に御参加いただきました。悪天候かつ暑さの厳しい中でしたが、御来校くださりありがとうございました。

「今回は予定が合わず参加できなかった」「もっと柴田高校について知りたい!」という中学生の皆さんにお知らせです。

本校では年に3回のオープンキャンパスを開催しています。第2回オープンキャンパスは、10月5日(土)に開催予定です。本校の特色でもある「体育科を志望する方」を対象にしたもので、体験できる部活動も体育科専攻実技の6種目のみとなっています。体育科を考えている皆さんは、ぜひ御参加ください。

また、第3回オープンキャンパスは、11月2日(土)に開催予定です。こちらは、普通科・体育科の両方を対象としており、個別相談会も実施します。入試等に関する疑問点や不安などがありましたら遠慮なく御相談ください。

中学生の皆さんの御来校をお待ちしております。

そのほか学校生活や入試について疑問点等あれば気軽にお問い合わせください。



〈学校のホームページはこちらです〉

<https://sibata.myswan.ed.jp/>

### (2) 泉高校

#### 〈泉高祭(文化祭)大いに盛り上がる〉

第52回泉高祭(文化祭)は、「写せ!青春!~泉高 Real~」のテーマのもと、7月12日(金)の校内発表、13日(土)の一般公開と2日間開催されました。全校生徒が集い歓喜と歓声が体育館にこだまし、一人一人が輝いていました。一般公開には多くの来場者であふれ、感染対策や衛生面に気をつけながら、3年生や運動部を中心とした飲食の模擬店や、吹奏楽部、書道部、チアリーディング、軽音楽同好会などのパフォーマンスもあり、大いに賑わいました。

新型コロナウイルス感染症の発生以降、フルスケールの文化祭の経験が少ないなか、生徒会執行部を中心に試行錯誤を繰り返しながら、部活動・クラス・委員会が協力して取り組み、当日は多くの笑顔があふれる泉高生らしい文化祭になりました。



〈学校のホームページはこちらです〉

<https://izumihigh.myswan.ed.jp/>

### (3) 松島高校

〈販売実習（観光科1年生）が実施されました。〉

令和6年7月26日（金）から8月1日（木）までの夏休み期間に、松島町の企業様・事業所様を中心に御協力をいただき、観光産業を題材とした販売実習を行いました。

実習の目的は「職業人としての自己の将来を捉える機会とする」「主体的に動くことでコミュニケーションを円滑にとれるようにする」「地域に関する興味・関心を喚起し、シチズンシップを育てる」こととしています。生徒は接客、受付、掃除といった業務内容を通して、社会人に必要な能力とは何かを学ぶだけではなく、現在の松島町の観光業の実態を肌で感じることができました。

参加した生徒は、「自分のためだけに働くのではなく、自分も相手のために働くということであり、お金を目的とすることではないと思った。働くということで自分の生活を充実したものにすることも必要だと思った。」また、「私が実習を終えて成長した点は、自分自身の課題が見つけれられるようになって、どうすれば良いか考えられるようになったことです。私は販売実習に参加して良かった思いました。働くことがどれだけ大変か、どれだけ難しいか理解することができたと思います。私はこのことを通してこれからの学校生活でダメだった点を見直しつつ過ごしていきたいです。」（原文のまま）

今回の実習は、生徒一人ひとりに考えるきっかけを与え、その後の学校生活に良い影響がみられるようになってきます。本校では、このような「体験」を大切に学習活動を多く設けています。



〈学校のホームページはこちらです〉

<https://matsushima-h.myswan.ed.jp/>

## (4) 古川高校

### 〈古高の暑くて短い夏〉

古川高校では、「古高祭」と呼ばれる文化祭が夏休み前に開催されます。今年度は7月19日（金）に校内発表、20日（土）には一般公開が行われました。一般公開日は、暑い日に関わらず、多くの方に御来場いただき、文化部の日頃の活動の成果を見ていただきました。また、生徒会や文化祭実行委員がそれぞれの役割をしっかりと果たし、文化祭を盛り上げるのに貢献していました。

7月25日（木）には、中学生対象のオープンスクールが開催されました。ここ数年の夏の暑さを考えて、冷房が効いた教室で、有志の古高生がiPadのデータをプロジェクターでスクリーンに映しながら、学校の紹介を行いました。古高生が中学生からの質問に直接答える時間もあり、来校した中学生は、古川高校での学校生活について理解を深めていました。

今年の夏休みは7月25日（木）から8月18日（日）までの約4週間です。勝負の夏、古高生は勉強に部活動に充実した毎日をごします。

1学年では、7月30日（火）に東北大オープンキャンパスに参加してきました。また、それと前後して、難関大学志望者を対象に特別勉強会が開催され、国数英の応用力強化に努めました。各教科から課題がたっぷり出されたので、生徒達は計画的に学習に取り組み、更なる学力向上を意識して夏休みを過ごしたことと思います。

2学年では、夏休み中に開催される大学のオープンキャンパスへの参加を推奨しています。また、総合的な探究の時間で取り組んでいる探究活動を文献や論文を読んで進め、9月の中間報告会に向けての準備をすることが夏休みの課題の1つとなっています。2学年も希望者を対象に学力向上を狙った課外講習を開催しました。英数国の講義を1コマ1時間、部活動にも取り組めるように午前と午後に分けて実施しました。部活動も3年生が引退して、いよいよ本格的に2年生が主体となって運営していきます。2年生が中心となって、暑く限られた夏休みの練習時間をどのように過ごすのか、こちらでも頭を使いながら、体力技術の向上に励みます。

3年生は入試に向けて勝負の時を過ごしています。7月24日（水）から8月9日（金）まで、夏期課外講習が実施されました。一日90分×5コマ（8：20～16：50）の設定です。冷房設備のある講義室をフルに活用し、猛暑下においても、快適に講習に集中することができます。また、古川高校には、個別に仕切られた学習スペース80席が生徒会館（蛭雪会館）2階に設置されており、冷房の効いた室内で、多くの生徒が朝早くから夕方6時半の下校時まで学習に励んでいます。図書室でも毎日決まった場所で、熱心に学習に取り組む生徒が多く見られ、各自スイッチが入る場所を確保しながら、集中して学習に取り組んでいます。



3B 講義室での講習風景

〈 学校のホームページはこちらです 〉

<https://furuko.myswan.ed.jp/>

## (5) 迫桜高校

### 〈教育課程の特色〉

迫桜高校では、たくさんの選択科目の中から、生徒自身がそれぞれの進路に必要な科目を選択し、「自分独自の時間割」を作ります。

科目選択のためには、生徒一人一人が自分自身の進路を考える必要があります。そのため、まず「産業社会と人間」という科目を1年次で学習し、進路について深く考えてもらうことにしています。この「産業社会と人間」は、科目選択のための学習、職業人講話、ライフプランニング等を通して、様々な角度から自分の将来について見つめる科目です。

その上で、生徒自身で科目選択を考える材料として、迫桜高校では進路に応じた科目選択のモデルを《系列》として示しています。《系列》は令和7年度から人文社会（人文国際と自然科学を統合）、福祉教養、情報ビジネス、エンジニアリング、アグリビジネスの5系列です。この系列を参考にして自分の科目を選択することになります。

写真は今年行われた、アグリビジネス系列での田植えの授業の様子です。



〈 学校のホームページはこちらです 〉

<https://hakuou.myswan.ed.jp/>

## (6) 一迫商業高校

### 〈地域と連携した取組『栗原版デュアルシステム』〉

平成17年度から文部科学省の指定を受け、学校の勉強と企業への企業実習・起業家研究・販売実習を通して専門的な知識と技能を習得するデュアルシステムを導入しております。「デュアル」とは2つという意味です。学校教育と企業での職業訓練を同時に進める取組で、「長期間の実習」を授業に取り入れています。

#### 栗原版デュアルシステムの3つの取組

##### 〈企業実習〉

6月～12月までの長期（R6年度は31回）にわたり実習を行います。地域産業と連携し、職業についての知識や技能を身に付け、将来の地域産業の担い手となる優秀な人材の育成を目指しています。職業人として必要とされる創造性や積極性・協調性等を実習で学んでいきます。自分自身の進路選択にも大いに役に立っています。



企業実習・栗原市消防署

##### 〈起業家研究〉

自分が起業するならばどうすればいいのか。専門家や起業家からの話を聞きながら、SDGsのビジネスプランの作成や地域活性化にむけたふるさと納税返礼品の企画、イベント企画など地域が抱えている課題を教材として考えます。話し合いを積み重ね、課題解決能力を高める学習です。起業家の理念や経営方針を理解し、問題点を洗い出し、高校生のフレッシュな視点で提案しています。



起業家研究・栗駒六日町商店街

##### 〈販売実習〉

消費者の求めている商品・サービスを調査し、実際に商品の仕入れ・販売・広告作成・会計処理の全てを学びます。JA新みやぎの農産物直売所の店舗前を借り受け、「一斉チャレンジショップきてけさいん」を行います。商業高校ならではの取組でもあり、地域の皆様から大好評です。今年度は、地域のイベントへの出店依頼が増え、お客さんとの対面での販売活動を積極的に実施します。



販売実習・あやめの里店舗前

〈学校のホームページはこちらです〉

<https://ichisho.myswan.ed.jp/>

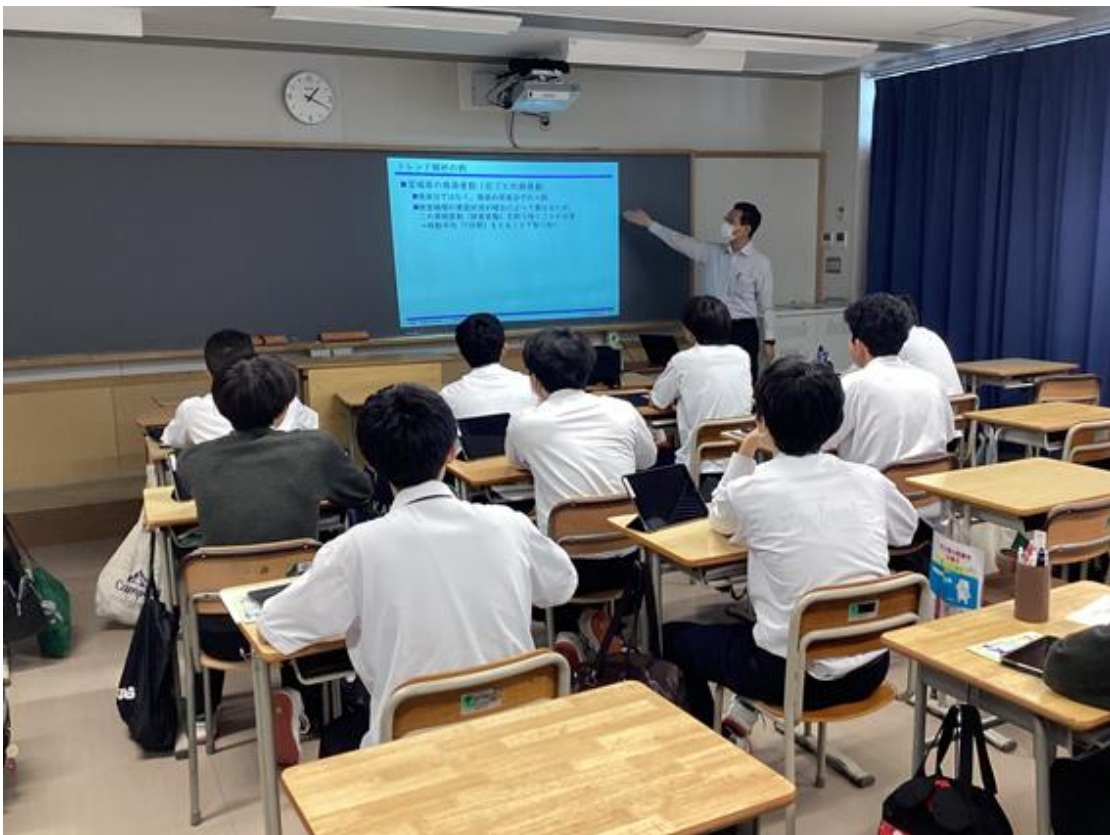
## (7) 石巻好文館高校

### 〈2年次分野別課題研究〉

本校では、総合的な探究の時間を「甲斐ある人といわれたいむ」略して「甲斐たいむ」と呼び、各年次で特色ある活動を行っています。2年次では、自分で課題を見つけ調査研究する「分野別課題研究」を1年間かけて行います。

7月17日（水）、石巻専修大学、東北福祉大学、宮城学院女子大学から12名の先生をお招きし、「大学教授出前講義」を実施しました。生徒たちは、興味のある分野の講義に耳を傾け、高校とは異なる大学での学びの一端に触れることができました。また、大学の先生から自分たちの研究テーマについて具体的なアドバイスをいただき、視野を広げることができました。生徒からは、「自分のやりたい研究を、高校生のできる範囲でやっていくことが成功につながるということがわかりました。諦めずに取り組んでいきたいです。」などの感想がありました。

今後は、10月の中間発表、2月のポスターセッションを目指し、各グループで研究を進めていきます。



〈 学校のホームページはこちらです 〉  
<https://koubunkan.myswan.ed.jp/>



## (8) 石巻工業高校

### 〈遠足のススメ〉

石巻工業高校では、毎年4月、学年ごとに【遠足】を行っています。今年度は、1年生が中尊寺、2年生が仙台市中心部、3年生が仙台うみの杜水族館周辺に出かけました。

#### 【1年生】

まだ慣れない学校生活の中で、学校を離れての活動としては初めてのことでした。新しくできた友人とバスの中で話したり、中尊寺の豪華絢爛さに目を奪われたりと、有意義な一日となりました。事前学習を行っていたため、より理解を深めることができました。これから3年間を過ごす仲間たちとの素敵な思い出になりました。

#### 【2年生】

仙台市博物館では、現在の宮城・仙台の礎を築いた伊達政宗公や仙台藩の歴史について、様々な資料を基に学習しました。その後、班ごとに仙台市中心部へと繰り出し、各班のテーマに沿った名所やグルメなどを堪能しました。12月の学習旅行に向けて、自ら計画を立て、実行することの楽しさや難しさを学びました。

#### 【3年生】

仙台うみの杜水族館では、名物のイルカショーや、三陸の海を再現した大水槽などを楽しみました。午後からは、近隣の商業施設などでそれぞれ思い思いの時間を過ごしました。最後の遠足を、最高の仲間と共に、最高の笑顔で、締めくくりました。高校生活の青春の1ページとして生徒の心に刻まれました。



〈 学校のホームページはこちらです 〉

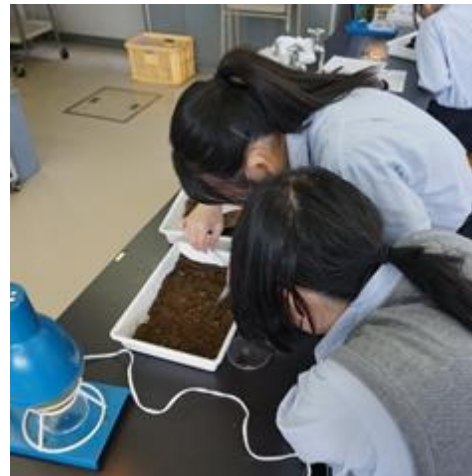
<https://ishiko.myswan.ed.jp/>

## (9) 本吉響高校

### 〈身近な自然と“響き”合う本吉響高校の環境教育〉

本吉響高校は、美しい桜が並ぶ「桜が丘」と呼ばれる場所に校舎があり、その周辺には水田や津谷川など多様な環境があります。これらの豊かな自然を活用し、身近な自然環境について学ぶチャンスが沢山あります。今回は、3つ紹介させていただきます。

- ① 自然観察…全国的に見ても非常に珍しい授業で、3年次で選択することができます。積極的に外に出て、草花や樹木、トンボ、土壌生物を採集してスケッチをしたり、野鳥観察を行ったりします。環境保全の重要性についても学ぶことができ、受講して1年後には、自然を見る目が変わります。
- ② 環境と科学 A/B…こちらも3年次で選択することができます。理科の中で、環境と関連が深い分野を中心に学びます。環境問題や外来生物問題、災害対策など身近な話題も豊富で、環境を意識した行動ができるようになります。
- ③ 科学部の活動…毎日のように外に出て、身近な生物の観察や採集を行っています。採集情報は、環境省の「いきものログ」を使って発信しています。身近な生物の研究活動にも力を入れており、大学レベルの専門知識を習得できます。



〈 学校のホームページはこちらです 〉

<https://hibiki-h.myswan.ed.jp/>

### 3 生徒の活躍（活動の成果報告等）

#### （1）南郷高校

〈大崎耕土世界農業遺産支援プロジェクト〉

4月、本校の有志が大崎市鳴子温泉南原穴堰において、「大崎耕土世界農業遺産支援プロジェクト」の一環として用水路の清掃ボランティアを行いました。

大崎耕土は水管理システムを中心に世界農業遺産に認定されています。この穴堰清掃ボランティアは、山間部における水管理システムについての学習

の一環として毎年行っているもので、水路部の土砂や積もった葉の排出等を手作業で行います。用水路の清掃等は人手を要する作業ですが、当該地域は限界集落で、高齢化や後継者不足などから水路の維持管理が年々難しくなっている現状があります。

このボランティア活動を通して地域の方々から感謝されるとともに、地域の抱える問題について学び考えるきっかけとなっています。



〈 学校のホームページはこちらです 〉

<https://nango-h.myswan.ed.jp/>

## (2) 岩ヶ崎高校

### 〈岩高の魅力発信！「イイじゃん、イワコウ！」第2弾〉

〈イイじゃん、イワコウ！①・・・注目！新制服はこれだ！〉

爽やか、かつ優しい印象を与えるブルークレーのコーディネート。学校旗に使用されるブルーを基調に新しい始まりを感じさせる爽やかなデザインです。

令和7年度入学生、現在の中学3年生から新制服となります。最新の制服で高校生活を楽しく過ごしましょう！！



〈イイじゃん、イワコウ！②・・・新「尚志館」完成！〉

昭和57年（1982年）に完成した「尚志館」は40年余りの歴史に幕を閉じ、建て替えが完了しました。

新しい尚志館は冷暖房、シャワー室完備で全室がフローリング、パーティションで複数の空間にすることができ、本校の様々な教育活動に利用が期待されます。ぜひ御覧になってください。



〈イイじゃん、イワコウ！③・・・岩高はグローバル！！

ネパール・台湾・デラウェア！〉

岩高はグローバル！ 昨年度に続き築館のN.S日本語学校のネパール人留学生と共に行ったイングリッシュ・キャンプでは、本校生も留学生も緊張した面持ちでスタートしましたが、時間が進むにつれ打ち解けあい、ワークショップやゲームなどを通して互いの文化に対する理解を深める機会となりました。現在、岩高では台湾南投市中等教育学校との姉妹校交流を検討中です。また、米国デラウェア州の学生との国際交流をはじめました。はじめはペンパ



ルからスタートし、将来は留学する生徒が現れるかもしれません。

〈 学校のホームページはこちらです 〉

<https://iwagasakikou.myswan.ed.jp/>

## (3) 大河原産業高校

### 〈大河原産業高校の学校生活〉

大河原産業高校は、普通教科と、各学科の専門分野が学べる2期制の高校です。今回は、生徒の4～7月の活躍をお伝えします。

4月は、全校でお花見に出かけました。大河原には有名な千本桜があります。当日はお団子を食べながら、美しい桜を堪能しました。

5月は、前期生徒総会が行われました。「勉強スペースを作ってほしい」等、積極的な議論がなされ、自分達で学校生活をよくしていこうという意識が感じられました。

6月は、県総体がありました。開校2年目で3年生がおらず、部員を揃えるのも大変な中、それぞれの部活が次につながる試合を行いました。

7月は、夏休み前最後の全校集会が行われました。集会の締めくくりで歌われた本校の校歌は、美しいメロディーが特徴です。授業のチャイムにも校歌が使われており、生徒からも人気があります。

様々な活動を通して、生徒が大きく成長できた4～7月でした。



〈 学校のホームページはこちらです 〉

<https://daisan.myswan.ed.jp/>

## 4 入学を目指す皆さんへ（お知らせ・メッセージ）

### （1）岩出山高校

#### 〈岩出山高校 悠備館タイム！地域探訪編〉

岩出山高校では体験活動や調査活動等を通じ、地域理解を深め、情報収集力・活用力・表現力を身に付ける活動を行っています。そして、3年間をかけて「なりたい自分」になるための力を身に付けていきます。その一環として城山公園や有備館などを訪れ、岩出山の歴史や自然を体験する「地域探訪」を行っています。有備館の文化的価値や、岩出山伊達家について学び、理解を深めることで生徒の帰属意識を高めます。

岩出山高校のスローガンである「地域に学び、地域に育ち、地域を担う」人材の育成を目指し、邁進しております。



〈 学校のホームページはこちらです 〉

<https://iwadeyama-h.myswan.ed.jp>

